

発達障害者自立生活移行支援事業

生活支援

夜間

☆発達障害の特性に合わせた生活訓練
アパートを活用(宿泊型自立訓練)



平成24年度~26年度

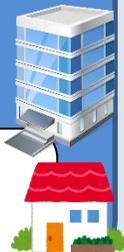
発達障害者自立生活支援システム構築事業
知的障害を伴わない発達障害者への支援プログラム構築
・就労移行訓練プログラム
・生活支援プログラム

日中支援

昼間

☆発達障害の特性に合わせた就労準備訓練
(自立訓練(生活訓練))

☆発達障害の特性に合わせた活動の場の提供



プログラムを活用した
支援の提供へ

○事業成果を既存の
障害福祉サービス事
業所・認証ケアマネ等
に普及し、発達障害者
への支援充実・事業所
への受入れ促進の必要

一体的な支援に
より地域移行へ

平成27~29年度

プログラム普及事業、生活支援体制ネットワーク構築事業
・福祉事業所、病院デイケア等約50か所へプログラム普及
・学習会による支援者のスキルアップ、受け皿の拡大
・より効果的な支援に向けてプログラムの改良

課題

- 高機能発達障害者の困難事例への対応
- 就労や事業所利用には、就労面に加え生活面への支援
- 地域での自立に向けた支援
- 当事者の支援の必要性への理解

H30年度~(継続)

地域生活へのスムーズな移行のための支援の提供

- ・スムーズな地域移行のためのジョブカレ
利用終了前後の移行支援
- ・地域移行のための支援ノウハウの蓄積
- ・研修企画・運営

R1年度~(新規)

高機能発達障害者の自己理解についての研究

- ・支援の必要性への理解に対する支援
- ・必要な支援の取捨選択スキルの獲得
- ・困りごとの発信スキル
- ・高機能発達障害者受け止めのためのシステムの構築

R2年度~(新規)

高機能発達障害者の活動の場の提供

ジョブカレを利用するにはハードルが高いと感じて
いる発達障害者に対し、活動の選択肢を広げ、本人の
ペースに合わせて社会参加の機会を提供

- ・就労準備訓練につながるための活動の場の提供
- ・参加しやすい活動の提供
- ・就労準備前段階の支援を受けるための支援を提供

発達障害
者の地域
生活へのス
ムーズな移
行

地域生活へのスムーズな移行のための支援の提供

実績（フォローアップ対象者8名）

- ・ 自宅訪問8回、職場訪問23回
ケース会議参加1回
相談・連絡36回

効果

- ・ 新しい支援機関へのスムーズな引継ぎ
- ・ 本人、家族の不安感の軽減
- ・ 移行先（職場、福祉施設等）への助言
- ・ 雇用主等の不安の軽減

課題

- ・ フォローアップ終了後の調整の担い手
- ・ 本人の相談スキルの欠如
- ・ 本人の支援の必要性への不理解
- ・ 地域での受け皿の脆弱性

高機能発達障害者の自己理解についての研究

実績

- ・ 有識者（大学教授等）3名を交えての自己理解についてのケース検討会の開催（R2年6月、8月、11月実施）

効果

- ・ 相談を受けるためのスキルの向上
- ・ ショブカレプログラムの整理（発達障害専門プログラムの実施等）
- ・ 本人の得意不得意の理解に対するアプローチ方法

課題

- ・ 自己理解の緩やかな促し
- ・ 自己理解への不安、反発
- ・ プログラム内容の検討、職員のスキル

高機能発達障害者の活動の場の提供（ゆるカレ）

実績

- ・ 利用者3名（内1名体験）
- ・ 活動日 12月 8日間
1月 8日間

効果

- ・ ショブカレプログラムに参加できない利用者の活動の場として機能
- ・ 利用のハードルが低いと感じられやすい
- ・ ショブカレ・ゆるカレに関する問い合わせ増加

課題

- ・ 活動内容、開所日数、時間の検討
- ・ 目標設定の仕方
- ・ プログラム内容の検討
- ・ ニーズに合わせた運営の検討
- ・ 職員のスキル

自己理解が進んだ発達障害者の地域生活へのスムーズな移行の実証、活用法の検討
就労準備訓練前段階の居場所での活動の場の提供